

(一社)

こもろ観光局事業紹介

～交流人口を増やすために～

～詩情あふれる高原の城下町～

社会的な人口減少の中、地域に訪れる人々（交流人口）を増やすことが、地域の活性化に向けた有力な方法とされています。「観光」は、その土地の歴史文化（光）を観る事が原点とされていますが、交流人口を増やすために最も重要なことが、観光であると捉えられています。

その「観光」のニーズは、団体旅行から個人旅行、見学から体験へと変化しています。そのため、オール小諸体制での観光を推進することが必要であり、観光客減少への対応として以下のような取り組みを行っています。

平成 28 年に「小諸市観光地域づくりビジョン」が作られ、それまで約 5 年間かけて市民公募者、住民団体、企業の代表者らが、小諸の観光の実態、課題を整理し、次のような大枠の観光戦略が策定されました。

- ・資源を活かすストーリーと、小諸の文化体験プラン作り
- ・「小諸」ブランドの一元的な発信、プロモーション強化
- ・観光資源の価値向上やインフラの充実、強化
- ・住民、事業者、団体、行政それぞれが主体性を持った協働
- ・観光推進体制の再構築

これによって、平成 28 年 11 月、小諸市、小諸商工会議所、旧小諸市観光協会が発起人となり、小諸市の観光戦略の舵取りを行う組織として（一社）こもろ観光局が設立されました。平成 29 年 4 月から営業開始したこもろ観光局は、様々な業種からなるオール小諸としての理事会組織を持ち、会員事業者を中心に下記のような具体的な活動を行っています。

これまでのこもろ観光局の取り組み

■ 地域観光イベント



浅間山開き

小諸城址懐古園桜まつりや自転車大会、市民まつりやふーどまつり、北国街道お人形さんめぐり等、様々な団体が主催するイベントで、サブイベントを行ったり、広報活動等での協力を行っています。

公共組織としての立場を利用して、各イベントの誘客を更にサポートしていきます。

■ 観光資源を活かす文化体験プラン



味噌仕込み体験

地域資源を有効活用し、また事業者を含めた地域住民との交流を増やすことを目的に、観光局では事業者と協働し、歴史の物語がある登山プログラムや味噌仕込み体験、環境を活かした流星群観望会や弓道体験など、年間 50 回以上の体験プランを行い、好評をいただいています。

■ 小諸の認知度向上の取り組み



2019 年 PR 動画小諸城址懐古園入門編

平成 28 年の首都圏向けのマーケティング調査で、これからの観光需要を支える 30 代の男女 6 割が「小諸」を知らない、という結果が出ました。これを打開すべく、全国メディアへの広報、PR 動画制作、観光雑誌への情報掲載等、様々な発信をしています。観光局のホームページ、Facebook/Twitter でタイムリーな情報をお届けしています。

こもろ観光局のこれから

今年度、こもろ観光局で行う取組みを紹介します。ここで紹介する事業のほか、体験プラン等は随時行っておりますので、市民の皆様もぜひご参加ください。

まちなかホテル構想



旧脇本陣「桑屋（くめや）」

まちなかホテルとは、まち全体を宿泊施設と捉え、空家や空き店舗を改修して「部屋」とし、食事や宴会、土産等は町へ出て消費してもらう、というもので、近年、全国で注目されており、こもろ観光局でも推進していきます。

ターゲットは、インバウンド（訪日外国人）です。小諸駅には真冬でも訪日外国人が来ない日は無いほどのため、みなさんに街中を歩いてもらうきっかけ作りをしていきます。

この3月、小諸市による旧脇本陣「桑屋」の修繕工事が終わり、観光局が指定管理を受け、宿泊等の施設として運営を始めようとしています。これをまずは成功させ、北国街道沿いを中心にまちなかホテルの仕組みを広げられればと考えています。

こもろでトレーニング＝「こもトレ」



東海大学陸上競技部長距離ブロック

小諸市では、標高差があるという立地を活かし、高地トレーニング推進事業が進められています。高地トレーニングとは、標高差を利用したトレーニング方法で心肺機能を高められると言われ、近年スポーツ界や健康、美容の観点で重要視されています。代表的な選手として、トライアスロン女子 上田藍選手も度々訪れています。

観光局では、一般アスリートや健康意識の高い方々に向けて、この地の有効性を発信し、合理的にトレーニングができるプランを旅行プランとして作り始めています。また夏だけではなく、冬シーズンにも通用するプランとして、オールシーズンで市内の経済効果に有益となるよう考えています。

オール小諸の走り出し！

小諸の事業者や団体が様々な人や形態、地域資源を活かしながら協働することで、結果的には何らかの形で自らにも利が出る活動として、ワーキンググループ (WG) という活動が始まっています。観光局の会員組織を中心に、次の5つのWGが活動しています。

【滞在プログラムWG】
事業者自らが、地域の歴史文化を体験できるプランを企画運営し、それを観光局として広く発信していきます。マニアックな小諸を知れます！

【インバウンド（訪日外国人）WG】
今後、外国人誘客は必須となってきます。観光局では、海外からの誘致活動に加えて、首都圏に住む外国人に対しても、アプローチをしていく予定です。

【土産品WG】
小諸の土産品は何を持っていますか？まずは、数ある小諸の土産品を一元的に発信できる仕組みを考えています。

【観光まちづくりWG】
詩情あふれる高原の城下町をどう維持、再生するか。ハードルは高いですが、地域団体とも連携していきます。

【次世代育成WG】
次世代を担っていく若手事業者を中心に、マーケティングや行政の仕組み等、様々な勉強会を行っています。

トピックス

Topics

クールビューティーな 斬新 PR 動画配信中

日本で唯一の穴城と言われる「小諸城址懐古園」と浅間山に伝わる天狗伝説にフォーカスしたPR動画「こもろ天狗登場」篇、「小諸城址懐古園 入門篇」の2作品をYoutubeで配信中です！どちらも、30秒の作品でスピード感ある仕上がりです！ぜひ、ご視聴下さい。



こもろ天狗
登場!!!

「あなじろ KOMORO」
で検索！



お問い合わせ先 (一社) こもろ観光局 ☎ 22-1234